

デジタルアーカイブの歴史

DT時代のサービス

従来型の開発手法

DT時代開発手法

デジタルマーケティングの歴史

デジタルマーケティング
ポータル

デジタルマーケティング

IT時代のマーケティング

AI時代のマーケティング

競争

データ

システム

従来の開発手法 - ウォーターフォール

IT時代の開発手法 - アジャイル

次世代サービス - サービスイノベーション

知識インフラの実現

必要な機能

AIの活用

必要となるスキル(マーケティング)

マーケティング, データサイエンス, システム開発

サービスイメージに必要なスキル(マーケティング)

AIという部下を働かせるための能力

AIでは絶対に代替できない能力

指標イノベーション

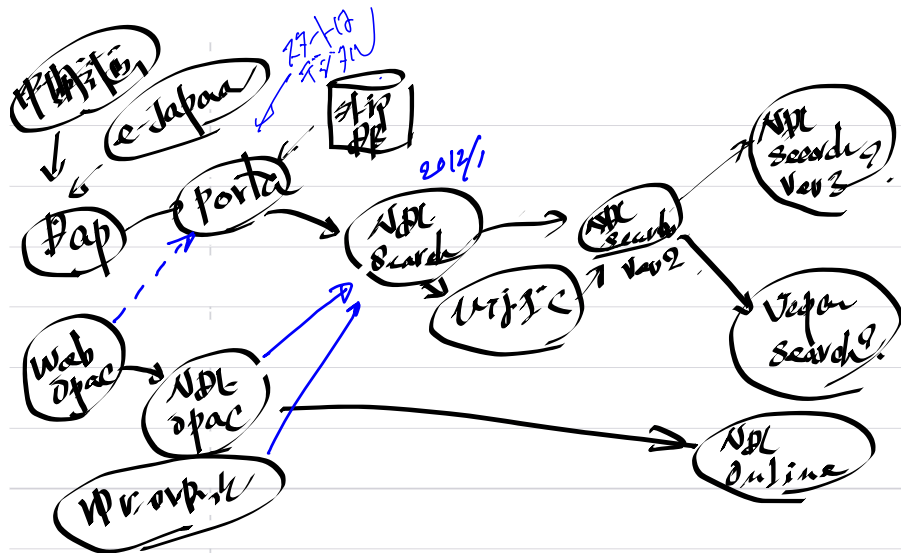
技能の習得方法

プログラミング

リベラルアーツ

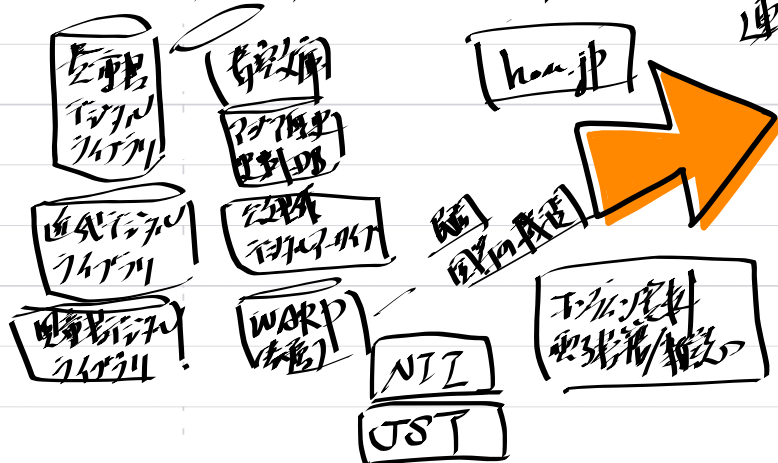
P2P

ブロックチェーン



データベースサービスを提供している

連日...長時間で



- ・ DBの構成は別ページで
- ・ X7のデータベース (PPTあり)

AIを活用したサービスの構築

知識インフラの実現

サービスのイメージ サービスのイメージ

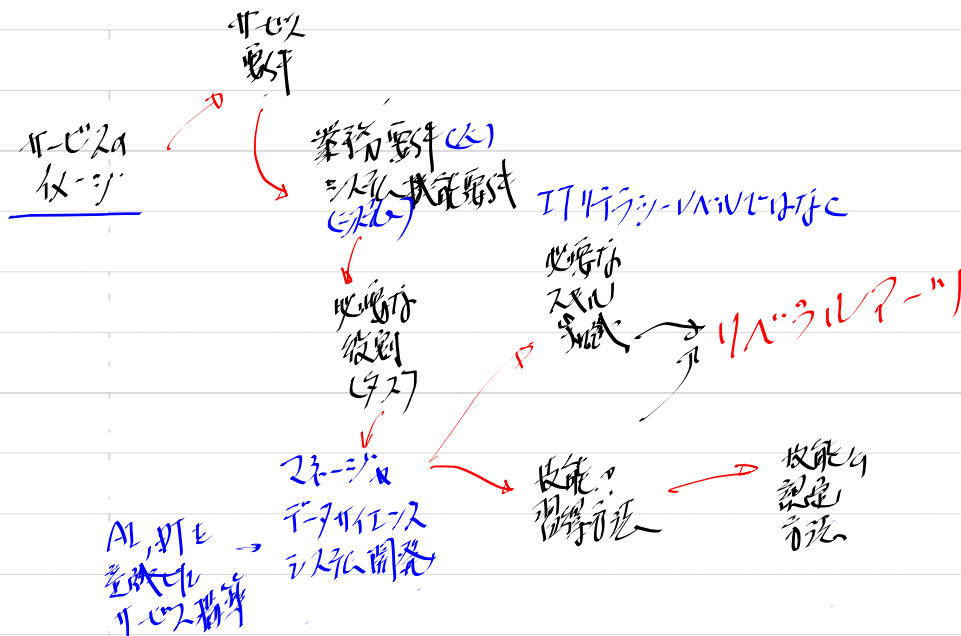
必要の機能

必要の役割(タスク)

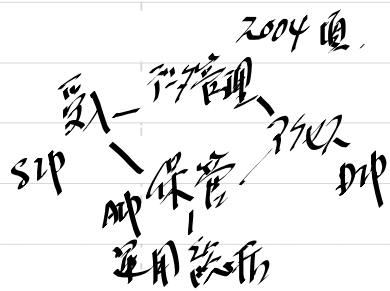
必要の技能知識(スキル)

技能の習得方法

ネットワーク図で表現



OALS 華地. Dspace, PLAS



電子書庫
Repository, Archive

2002年~2009年間の取り組み

IP-7L

APL, 477-7, 連関先の拡大 PPTs

DB

著作物単体

公的機関

民間

有償/無償

Webサイト単体

著作権

アクセス

DALS 環境

画面の切り取り
時系列

ウェブ上の
検索可能な
記録

新事業として

シナリオ-79

目標はどれ?

各土曜日の

施策の説明

これはTSC

次世代IT-ビジネスの構築 AIの活用

仕事の種類

創造性
感性

最終判断

人とのコミュニケーション

進化の発展を生み出す

教育に関与

橋渡し役は、既存の組織にはない役割であり、ITとAIの技術を理解しながらビジネスとつないでいく人で、AIの機能モジュールは、AI関連機関よりライブラリが整備され、多種多様なAPIが提供されたりされているため、自らアルゴリズムを設計、開発する必要はない。

どうビジネスに生かすかを描き、AIを活用したプロジェクトをマネジメントできる人材が求められる段階になってきた。

新しい役割分担 (テキスト p.94)

・事業戦略部門

・業務部門

・システム部門

ビジネスの復興役

IT-プランニングの推進者

IT-サイエティスト

システムエンジニア

新しい開発手法

・アジャイル

・モデルの組み合わせ

ビジネスエンジニア

IT-サイエティスト
の橋渡し役

1. IT人材白書2018

課題解決型

AI時代に必要スキル
(プログラミング&リベラルアーツ)

価値創造型

2. プログラミング&リベラルアーツ

AZという部下を使いこなすための能力

AIを味方にするための教養→プログラミング

AIではすぐに置換できない能力

知識としての教養ではなく、実践的な

教養→リベラルアーツ

人間を自由にする技

「知識」ではなく「技」

知識ではなく学ぶ姿勢

what is & how

科目を学ぶことにより身に付けよう技

※ 知識とスキルと技の違いは？

リーダシップ - 心の知能指数(EQ)を高めよう。

AI時代に必要スキル

(プログラミング&リテラシー)

どんな能力が重要なのか

(サイバー犯罪と生存戦略)

退職してから3年、社会は大きく変わった
しかし、国策はどうか？

1007千円による

コンテスト開催

DAの歴史

AI時代のタスク

従来型の開発手法

DT時代の開発手法;

